

2月のどきどき

スピード感が倍増

1月28日、町内小中学生スケート交歓会に140名の子どもたちが参加。

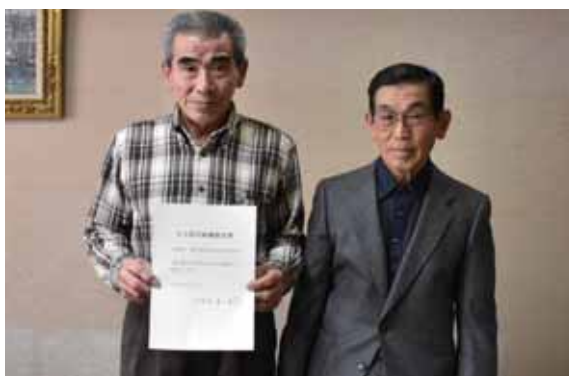
天候不順により低学年の50メートル走以外の種目が急遽アイスアリーナで行われ、スピードスケートのシヨートトラックにも似たスピード感ある競走が繰り上げられました。学校対抗リレーを制したのは遠浅小学校で、3連覇を達成しました。



広がる地域防災の輪

1月30日、瀧町長から東早来自治会（菊池吉藏会長）に、自主防災組織認定書が手渡され、町内14団体目の自主防災組織が誕生しました。

災害時の安否確認や情報伝達体制の強化、避難支援の明確化などを目的に今回の設立となったとのこと。交付を受けた菊池会長は「災害時を想定して様々な対策を講じていきたい」と話しました。



野菜の集出荷拠点に

平成24年3月に閉校した旧富岡小学校の利活用事業に、苫小牧市に営業所を持つ有限会社國崎青果（本社長崎県）が公募。2月1日、同社の安平町事業における建物や土地の賃貸契約を交わしました。

同社は、ブロッコリーを主とした野菜の集出荷拠点として設備を整え、秋頃からの活用を予定。井上一也社長は、「安平町の農業に寄与したい。町に来てくれて良かったとなるよう頑張りたい」と話しました。



美しい演奏・声に魅了

4日、追分公民館で第15回ロビーコンサート「アイスキャンドルとコンサートの夕べ」が行われました。

街中に設置していたアイスキャンドルは、実行委員会の呼びかけで町民の方にもお手伝いいただき製作されたものです。開演前は、フリーマーケットやアイスキャンドルの点灯が行われ、すでに賑わっていた会場。5組の出演者による演奏や歌声がロビーに響き渡り、初めて訪れた方も「楽しい時間だった」と笑顔で話してくれました。



安平町の将来像は

今年度末をもって終了する現在の総合計画。それに変わる第2次安平町総合計画（案）に関する町民説明会が10日から16日に町内4か所の会場で行われました。

説明会では、瀧町長を始め担当職員が、町が今後進めていく事業を6つの分野に分けて説明。参加した町民の関心は子育てや教育、道の駅をはじめとした、町の活性化に関する事業に向けられ、多数の意見が寄せられました。

